

企画競争実施結果の公表について

令和 8 年 3 月 2 日
北海道開発局函館開発建設部

- 1 件 名：函館開発建設部管内 降雨予測情報外提供
- 2 決定日：令和 8 年 3 月 2 日
なお、下記の結果は上記業務について企画競争を実施した限定的な結果であり、この結果をもって企業としての一般的な能力を示すものではない。
- 3 特定企業等
企業等名：一般財団法人日本気象協会 北海道支社
住 所：北海道札幌市中央区北 4 条西 2 3 丁目 1 番 1 8 号
代 表 者：支社長 川合 文人

4 応募企業等

応 募 企 業 名	評 価 得 点 合 計
一般財団法人日本気象協会 北海道支社	94

評価項目	評価の着目点		評価のウエート	(一財)日本気象協会北海道支社
	判断基準			
業務執行体制	実施体制	再委託の概要 再委託がない場合は優位に評価する。なお、下記に該当する場合は特定しない。 ①再委託の内容が主たる部分の場合。 ②再委託の理由が記載されていない場合又は不明確な場合。	10	10
予定管理責任者の経験及び能力	資格要件	技術者資格及びその専門分野の内容 下記の順位で評価する。 ①技術士(総合技術監理部門又は建設部門、応用理学部門に限る)資格を有するとともに気象予報士の資格を有する者。 ②RCCM(河川・砂防及び海岸・海洋部門、道路部門に限る)資格を有するとともに気象予報士の資格を有する者。 ③気象予報士の資格を有する者。 なお、上記以外の場合は特定しない。	①5 ②3 ③0	5
	情報収集力	過去10年間の当該開発建設部・周辺での業務実績(H26年度以降完了業務) ①5点 函館開発建設部管内の業務実績有り ②3点 北海道開発局管内での業務実績有り なお、上記以外の場合は加点しない。	①5 ②3	5
予定業務担当者の経験及び能力	資格要件	技術者資格、その専門分野の内容 ①担当技術者の1名以上が、技術士(総合技術監理部門又は建設部門、応用理学部門に限る)資格を有するとともに気象予報士の資格を有している。 ②担当技術者1名以上が、RCCM(河川・砂防及び海岸・海洋部門、道路部門に限る)資格を有するとともに気象予報士の資格を有している。	①5 ②3	5
	情報収集力	過去10年間の当該開発建設部・周辺での業務実績(H26年度以降完了業務) ①5点 函館開発建設部管内の業務実績有り ②3点 北海道開発局管内での業務実績有り なお、上記以外の場合は加点しない。	①5 ②3	5

実施方針・特定 テーマに対する提 案	業務理解度	目的、条件、内容の理解度が高い場合に優位に評価する。		10	10		
	実施手順	実施体制(予報資料の収集、解析、提供)、予報作業フロー、緊急体制時の体制 について正確で信頼性が高い場合に優位に評価する。		10	10		
	特定テーマ	的 確 性	本業務を的確に実施するための専門技術力の活用と整合性が高い 場合に優位に評価する	10	10		
			必要な着眼点・問題点・解決方法等が網羅されている場合、優位に 評価する	10	10		
		実 現 性	提案内容に説得力がある場合、優位に評価する	10	10		
			提案内容を裏付ける類似業務などが明示されている場合に優位に 評価する	10	10		
ワーク・ライフ・バ ランス等に関する 指標	女性の職業生活 における活躍の推 進に関する法律に 基づく認定等	①プラチナえるぼし認定 ②えるぼし認定:3段階目取得 ③えるぼし認定:2段階目取得 ④えるぼし認定:1段階目取得 ⑤一般事業主行動計画策定・届出		①5 ②4 ③3 ④2 ⑤1	最 大 5	4	4
	次世代育成支援 対策推進法に基 づく認定	①プラチナくるみん認定 ②くるみん認定(令和4年4月1日以降の基準) ③くるみん認定(平成29年4月1日～令和4年3月31日までの基準) ④トライくるみん認定 ⑤くるみん認定(平成29年3月31日までの基準)		①5 ②3 ③3 ④3 ⑤2		3	
	青少年の雇用の 促進等に関する法 律に基づく認定	ユースエール認定取得		4		0	
合 計				95	94		

1. 取り組み姿勢の評価は5段階評価とし、優位な方から項目別配分点に、5/5, 4/5, 3/5, 2/5, 0/5 の比率を配点に掛け合わせる方法とする。

- A評価　＝（項目別配分点）×　5／5
- A’評価　＝（項目別配分点）×　4／5
- B評価　＝（項目別配分点）×　3／5
- B’評価　＝（項目別配分点）×　2／5
- C評価　＝（項目別配分点）×　0／5